

## 5 樹木調査

樹木調査では、地上高 1.5m の直径が 90 cm 以上の樹木を大径木とし、現地にて大径木の調査を行った。

### 5-1 大径木の現況

#### 1) 大径木の状況分析（区全域）

- ・ 区全域の大径木の状況を図 5-1、大径木分布図を図 5-8 に示す。
- ・ 区全域の調査対象樹木は 377 本であった。
- ・ 幹周ランク別では 280～320 cm が 174 本と最も多く、280cm 未満が 82 本、320～350 cm が 60 本、350～400 cm が 36 本、400cm 以上が 25 本であった。
- ・ 調査した大径木のうち、区の保存樹木（幹周 120cm 以上）の指定を受けているものは、129 本確認できた。

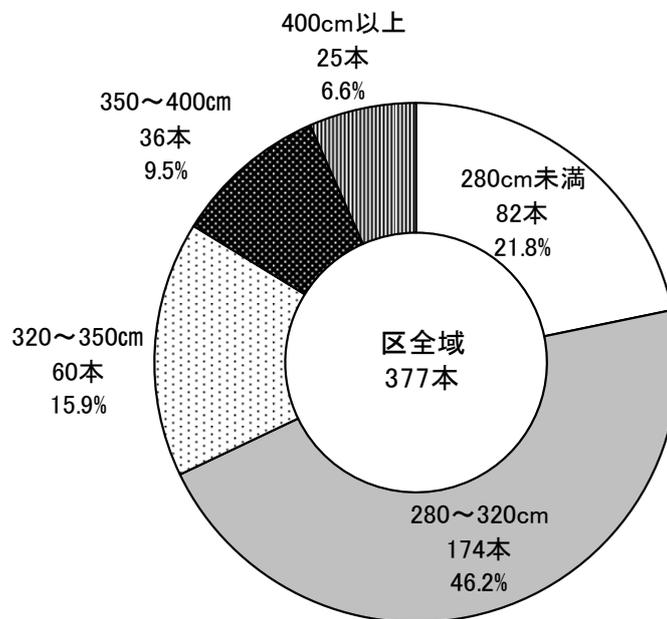


図5-1 区全域における大径木の状況

#### 2) 調査方法

- ・ 平成 26 年度調査で直径 70 cm 以上の樹木を調査対象としたが、令和元年度調査では、平成 26 年度調査において直径 80 cm 以上の樹木の直径を計測し、直径 90 cm 以上であれば大径木として調査した。
- ・ 直径 90 cm 以上と判断した大径木の幹周を計測しており、幹周 280 cm 未満の大径木も調査対象とした。

## 2) - 1 調査項目

・ 樹木調査の調査項目は次に示すとおりである。

- ① 位置
- ② 樹種
- ③ 形状（樹形、地上高 1.5m の幹周）
- ④ 保存樹木指定状況
- ⑤ 土地利用区分（表 5-1）
- ⑥ 活力度評価（表 5-2）
- ⑦ 地盤状況
- ⑧ 地盤環境
- ⑨ 育成環境
- ⑩ 景観性
- ⑪ 施設名称
- ⑫ 写真撮影

表 5-1 土地利用区分

土地利用区分	内 容
公園	区立・都立公園
公共公益施設	区立・都立・国立その他公共公益施設
学校	区立小中学校・都立学校・私立学校
道路	国道・都道・区道・私道
寺社墓地	寺院・墓地・神社
個人住宅	戸建て住宅
集合住宅	アパート・マンション等の集合住宅
民間施設(商業系)	事務所・店舗
民間施設(工業系)	倉庫・工場
民間施設(その他)	駐車場等
その他	上記以外

表 5-2 活力度評価

測定項目	評価基準		
	①良好	②普通	③不良
樹勢	旺盛な生育状態を示しており、幾分被害の影響を受けているがあまり目立たない	良好・不良以外のもの	生育状態が劣悪で回復の見込みがない
樹形	自然樹形に近い	良好・不良以外のもの	自然樹形が完全に崩壊され奇形化している
梢端枯損	少しあるがあまり目立たない	良好・不良以外のもの	著しく多い
枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度のバランスがよい	良好・不良以外のもの	枯死が多く、葉の発生が少ない。密度が著しく疎

### 3) 大径木の状況分析 (5地域別・32地区別)

#### 3) - 1 5地域別樹木本数

- ・ 地域別樹木本数と10ha当たり本数を表5-3、地域別の樹木の幹周ランク構成を図5-2、地域別の10ha当たりの樹木本数を図5-3に示す。
- ・ 5地域別の樹木本数は、常盤台地域、赤塚地域、志村地域、板橋地域、高島平地域の順であった。
- ・ 10ha当たり本数も、樹木本数の順位と同じであった。

表 5-3 地域別樹木本数と10ha当たり本数

地域名	樹木本数		10ha当たり本数	
	順位	(本)	順位	(本)
常盤台	1	147	1	3.1
赤塚	2	85	2	1.3
志村	3	84	3	1.3
板橋	4	38	4	0.7
高島平	5	23	5	0.2
区全域	—	377	—	1.2

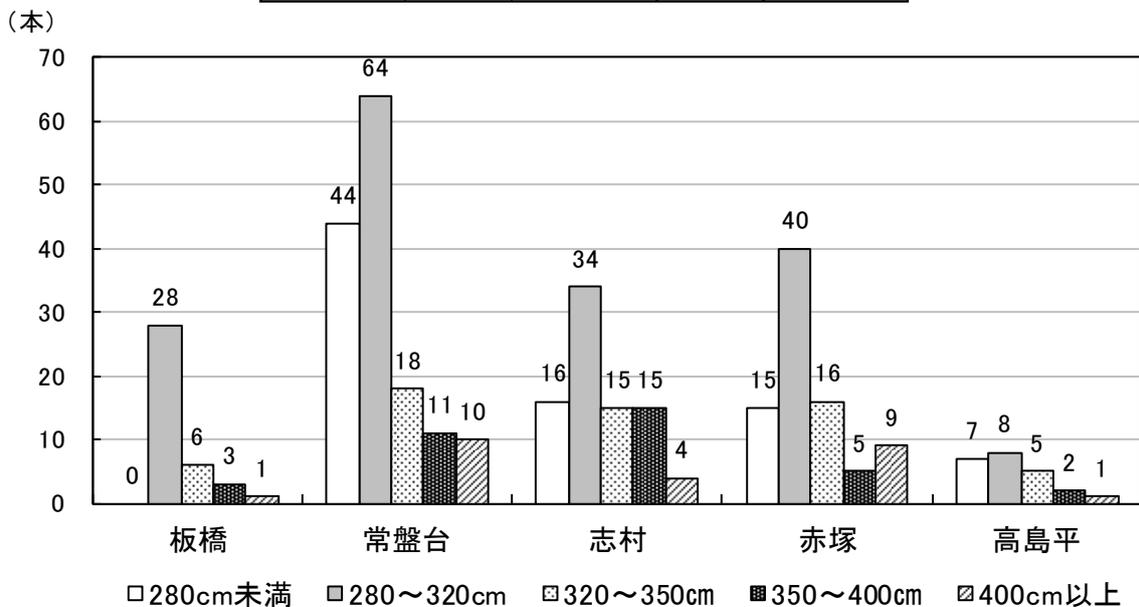


図 5-2 地域別の樹木の幹周ランク構成

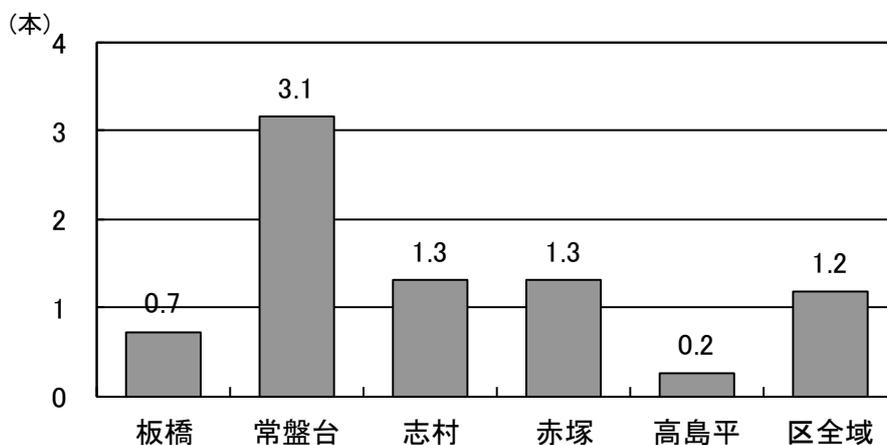


図 5-3 地域別の10ha当たりの樹木本数

### 3) - 2 32地区別樹木本数

- ・地区別の樹木の幹周ランク別の状況を表5-4に示す。
- ・地区別では上板橋地区が最も多く46本の大径木が確認できた。
- ・次いで赤塚地区40本、常盤台地区34本、小茂根地区28本の大径木が確認できた。
- ・仲宿、東坂下、赤塚新町、三園、舟渡には調査対象となる樹木は確認できなかった。
- ・幹周400cm以上の大径木は、四葉地区が4本と最も多い。

表5-4 地区別の樹木幹周ランク別の状況

地区名	面積 (ha)	280cm未満 (本)	280~320cm (本)	320~350cm (本)	350~400cm (本)	400cm以上 (本)	合計		10ha当たり本数	
							(本)	順位	(本)	順位
板橋	100.5	0	9	1	1	0	11	13	1.1	14
加賀	48.7	0	9	2	0	0	11	13	2.3	7
仲宿	57.6	0	0	0	0	0	0	28	0.0	28
幸町	75.6	0	1	1	1	1	4	22	0.5	23
大山	79.1	0	6	2	1	0	9	17	1.1	12
中板橋	100.3	0	1	0	0	0	1	26	0.1	27
富士見町	63.2	0	2	0	0	0	2	24	0.3	24
常盤台	106.1	10	15	5	2	2	34	3	3.2	2
向原	43.2	2	4	3	0	1	10	15	2.3	8
大谷口	82.7	4	4	0	0	1	9	17	1.1	17
小茂根	90.9	7	12	3	4	2	28	4	3.1	3
東新町	67.2	4	11	1	3	1	20	6	3.0	4
上板橋	77.0	17	18	6	2	3	46	1	6.0	1
蓮沼町	113.7	3	6	1	6	1	17	7	1.5	10
小豆沢	87.4	1	6	0	2	0	9	17	1.0	16
志村	71.9	3	3	2	1	1	10	15	1.4	11
前野町	143.6	1	5	4	1	1	12	12	0.8	19
中台	71.6	2	4	0	2	0	8	20	1.1	13
若木	53.2	2	1	1	1	1	6	21	1.1	18
東坂下	45.8	0	0	0	0	0	0	28	0.0	28
西台	85.1	4	9	7	2	0	22	5	2.6	5
徳丸	187.0	3	5	2	1	2	13	11	0.7	20
四葉	48.3	3	8	1	0	4	16	8	3.3	6
赤塚	195.4	8	20	8	2	2	40	2	2.0	9
赤塚新町	48.9	0	0	0	0	0	0	28	0.0	28
成増	142.0	1	7	5	2	1	16	8	1.1	15
三園	57.7	0	0	0	0	0	0	28	0.0	28
坂下	96.7	0	0	0	1	0	1	26	0.1	26
蓮根	93.8	3	0	1	0	0	4	22	0.4	22
舟渡	208.1	0	0	0	0	0	0	28	0.0	28
高島平	313.0	4	7	3	1	1	16	8	0.5	21
新河岸	161.7	0	1	1	0	0	2	24	0.1	25
区全域	3,217.0	82	174	60	36	25	377	—	1.2	—

## 4) 大径木の状況分析（土地利用別）

### 4) - 1 東京都土地利用現況調査結果による土地利用別本数

- ・平成28年度東京都土地利用現況調査結果による土地利用区分（P13 図3-6）を用いて、大径木の位置する土地利用別の集計を行った（P10 表3-1参照）。土地利用別樹木状況を表5-5、公有地別の樹木本数構成比を図5-4、民有地別の樹木本数構成比を図5-5に示す。
- ・大径木が最も多い土地利用は公園（140本）、次いで社寺境内地（78本）、独立住宅（41本）、区立学校（35本）であった。
- ・公有地の大径木本数は、全体の60%（226本）、民有地は全体の40%（151本）であった。
- ・公園の大径木は、公有地の大径木の約6割を占める。
- ・社寺境内地の大径木は民有地の大径木の約5割、独立住宅は約3割を占める。
- ・幹周400cm以上の大径木は、公園（10本）、社寺境内地（6本）、独立住宅（3本）の順に多く、公有地、民有地ともにほぼ同数であった。

表 5-5 土地利用別樹木状況

単位:本

土地利用		280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上	合計	
公有地	主な区有施設	0	4	1	0	0	5	
	その他公共施設	3	10	5	4	1	23	
	教育施設	区立学校	6	18	9	0	2	35
		都立学校	0	0	0	0	0	0
		その他	0	1	0	0	0	1
	公園	36	66	20	8	10	140	
	公営住宅	2	4	4	2	0	12	
	道路	2	6	2	0	0	10	
	鉄道	0	0	0	0	0	0	
	計	49	109	41	14	13	226	
民有地	社寺境内地	17	31	10	14	6	78	
	私立学校	2	6	0	0	1	9	
	商業用地	2	2	0	0	0	4	
	独立住宅	7	15	8	8	3	41	
	集合住宅	3	5	0	0	1	9	
	工業用地	0	1	0	0	0	1	
	空地	1	4	1	0	0	6	
	農用地	0	1	0	0	1	2	
	林野	1	0	0	0	0	1	
	計	33	65	19	22	12	151	
合計		82	174	60	36	25	377	

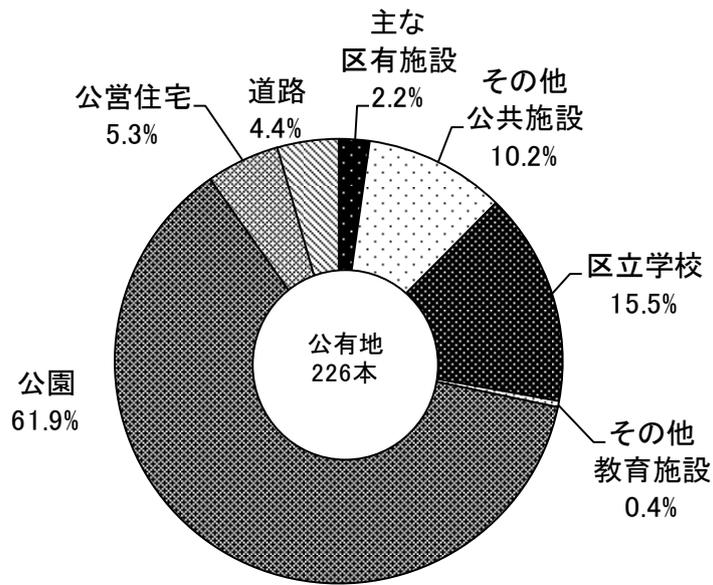


図5-4 公有地別の樹木本数構成比

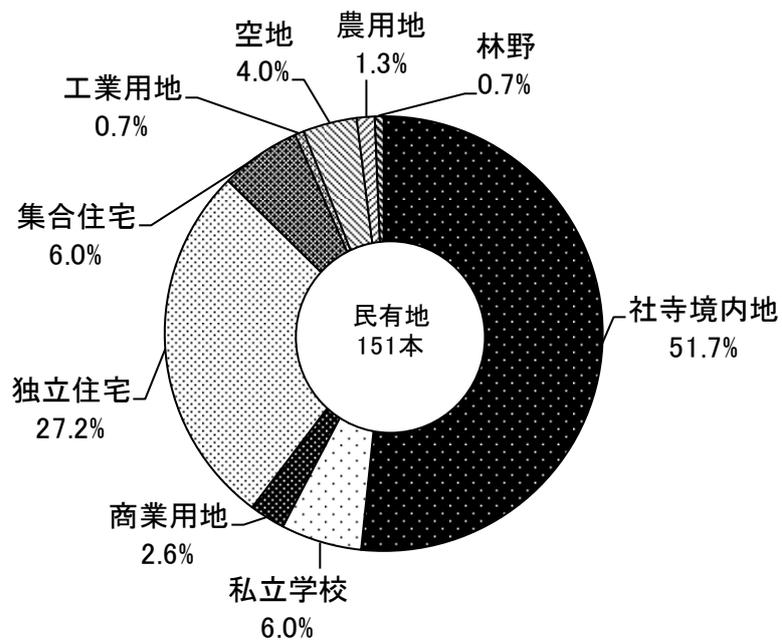


図5-5 私有地別の樹木本数構成比

#### 4) - 2 現地調査結果による土地利用別本数

- ・現地で確認した土地利用区分（P76 表5-1参照）による集計を表5-6に示す。
- ・大径木が最も多い土地利用は公園（140本）、次いで寺社墓地（99本）、個人住宅（41本）、学校（37本）であった。

表 5-6 現地調査結果による土地利用別樹木状況

単位:本

現地土地利用	280cm 未満	280～ 320cm	320～ 350cm	350～ 400cm	400cm 以上	合計
公園	37	64	21	8	10	140
公共公益施設	3	12	4	3	3	25
学校	8	21	6	0	2	37
道路	1	2	0	0	0	3
寺社墓地	20	41	17	15	6	99
個人住宅	7	17	6	7	4	41
集合住宅	4	7	4	1	0	16
民間施設(商業系)	0	2	1	1	0	4
民間施設(工業系)	0	0	0	0	0	0
民間施設(その他)	0	1	0	0	0	1
その他	2	7	1	1	0	11
合計	82	174	60	36	25	377

## 5) 大径木の状況分析（樹種別）

- ・ 樹種別の本数と構成比を図 5-6、樹種別の幹周ランク別の状況を表 5-7 に示す。
- ・ 最も多い樹種はサクラの 111 本、全体の 29.4%であった。
- ・ 次いでケヤキ（97 本）、イチョウ（41 本）、クスノキ（35 本）と続き、上位 4 種が樹木全体の約 75%を占めている。

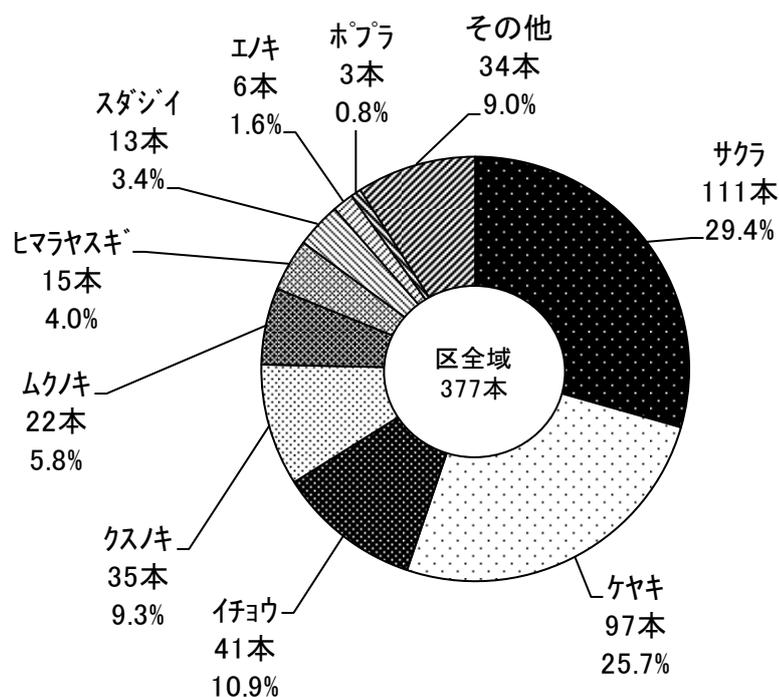


図 5-6 樹種別の本数と構成比

表 5-7 樹種別幹周ランク別の状況

単位:本

樹種	280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上	合計
サクラ	28	53	16	7	7	111
ケヤキ	15	46	16	14	6	97
イチョウ	7	16	8	5	5	41
クスノキ	7	15	9	3	1	35
ムクノキ	11	5	3	2	1	22
ヒマラヤスギ	6	7	1	1	0	15
スタジイ	1	5	4	2	1	13
エノキ	2	2	1	0	1	6
ホップラ	0	3	0	0	0	3
その他	5	22	2	2	3	34
合計	82	174	60	36	25	377

- ・ 地区別の樹種別分布状況を表 5-8 に示す。
- ・ サクラは大谷口（15 本）、富士見町（14 本）、東新町（14 本）、常盤台（9 本）、四葉（9 本）の順に多い。
- ・ ケヤキは徳丸（21 本）、東新町（16 本）の順に多い。

表 5-8 地区別の樹種別分布状況

単位:本

地区名	サクラ	ケヤキ	イチョウ	クスノキ	ムクノキ	ヒマラヤスギ	スダジイ	エキ	ホップラ	その他	合計
板橋	1	4	3	1	0	0	1	0	0	1	11
加賀	5	1	2	0	0	0	1	0	0	2	11
仲宿	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	4
幸町	2	1	0	2	0	0	0	0	0	4	9
大山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中板橋	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
富士見町	14	3	5	4	1	5	1	0	0	1	34
常盤台	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
向原	4	1	0	1	2	0	1	0	0	0	9
大谷口	15	3	2	1	3	1	2	0	1	0	28
小茂根	3	4	1	3	0	1	0	1	0	7	20
東新町	14	16	3	7	1	2	0	2	0	1	46
上板橋	4	6	5	1	0	0	0	0	0	1	17
蓮沼町	1	2	0	1	0	1	2	1	0	1	9
小豆沢	3	2	1	0	2	0	1	0	0	1	10
志村	3	4	0	2	0	2	0	0	0	1	12
前野町	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	8
中台	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	6
若木	5	4	5	1	5	0	0	0	0	2	22
東坂下	4	4	1	1	1	0	0	0	0	2	13
西台	0	7	2	0	3	0	0	1	0	3	16
徳丸	7	21	7	0	1	1	0	0	0	3	40
四葉	9	4	1	0	1	0	0	0	0	1	16
赤塚	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
赤塚新町	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
成増	0	2	0	10	0	0	0	1	2	1	16
三園	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
坂下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蓮根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舟渡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高島平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新河岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区全域	111	97	41	35	22	15	13	6	3	34	377

- ・ 現地調査結果による土地利用区分 (P76 表 5-1 参照) による樹種別分布状況を表 5-9 に示す。
- ・ サクラは公園 (47 本)、学校 (23 本) に分布が多く、全体の約 63% を占めていた。
- ・ ケヤキは寺社墓地 (29 本)、公園 (28 本)、個人住宅 (17 本) に分布が多く、全体の約 76% を占めていた。
- ・ イチョウは寺社墓地 (24 本)、公園 (10 本) に分布が多く、他の土地利用では分布が少ない。
- ・ クスノキは公園 (22 本)、寺社墓地 (7 本) に分布が多く、他の土地利用では分布が少ない。

表 5-9 現地調査結果による土地利用別の樹種別分布状況

単位:本

現地土地利用	サクラ	ケヤキ	イチョウ	クスノキ	ムクノキ	ヒマラヤスギ	スダジイ	エノキ	ホヱラ	その他	合計
公園	47	28	10	22	6	7	2	5	3	10	140
公共公益施設	9	11	1	1	1	1	1	0	0	0	25
学校	23	3	1	1	1	3	2	0	0	3	37
道路	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
寺社墓地	5	29	24	7	9	4	5	1	0	15	99
個人住宅	13	17	3	3	1	0	0	0	0	4	41
集合住宅	9	3	1	0	1	0	2	0	0	0	16
民間施設(商業系)	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	4
民間施設(工業系)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民間施設(その他)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	5	3	0	0	2	0	0	0	0	1	11
合計	111	97	41	35	22	15	13	6	3	34	377

## 6) 大径木の状況分析（地形区分別）

- ・地形区分別の幹周ランク別状況を表5-10、地形区分別の幹周ランク別構成比を図5-7、地形区分別の樹種別の状況を表5-11に示す。
- ・地形区分は、平成26年度調査において都市計画基本図データ（MMT）より標高15～24mを斜面とし、標高が15m未満の区域を低地、標高が24mよりも高い区域を台地とした。
- ・台地上の大径木の本数が278本と最も多く、10ha当たり本数も1.9本と最も多い。
- ・斜面上の大径木の400cm以上の割合は、他の地形区分と比較して8.1%と最も高い。
- ・低地上の大径木はクスノキ（12本）、ケヤキ（8本）が多く、これらが全体の約半分を占めていた。
- ・斜面上の大径木はサクラ（14本）、ケヤキ（13本）、クスノキ（9本）、イチヨウ（8本）が多く、この4つの樹種で約7割を占めていた。
- ・台地上の大径木はサクラ（96本）が全体の約3割を占めており、次いでケヤキ（76本）であった。

表5-10 地形区分別の幹周ランク別の状況

単位:本

地形区分	面積 (ha)	280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上	合計	10ha当たり本数
低地	1,202.8	11	14	8	3	1	37	0.3
斜面	573.0	12	34	5	6	5	62	1.1
台地	1,433.3	59	126	47	27	19	278	1.9
合計	3,209.1	82	174	60	36	25	377	1.2

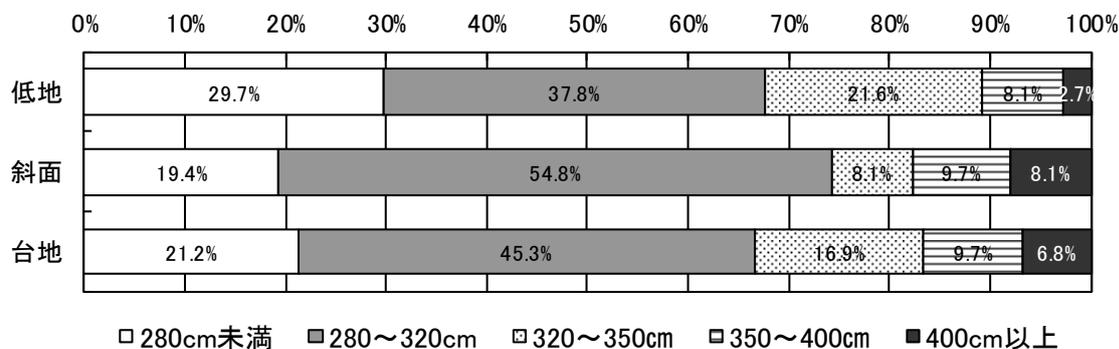


図5-7 地形区分別の幹周ランク別の構成比

表5-11 地形区分別の樹種別の状況

単位:本

地形区分	面積 (ha)	サクラ	ケヤキ	イチヨウ	クスノキ	ムクノキ	ヒマラヤスギ	スタジイ	エキ	ホフラ	その他	合計	10ha当たり本数
低地	1,202.8	1	8	3	12	4	1	2	1	2	3	37	0.3
斜面	573.0	14	13	8	9	6	4	3	1	0	4	62	1.1
台地	1,433.3	96	76	30	14	12	10	8	4	1	27	278	1.9
合計	3,209.1	111	97	41	35	22	15	13	6	3	34	377	1.2

## 7) 巨木の状況（幹周400cm以上の大径木）

### 7) - 1 巨木の状況

- ・ 幹周 400 cm以上の巨木本数について、地域別を表 5-12、土地利用別を表 5-13、樹種別を表 5-14 に示す。
- ・ 本調査では、幹周 400 cm以上の巨木は 25 本が確認された。
- ・ 地域別の巨木本数は常盤台地域（10 本）が最も多く、次いで赤塚地域（9 本）、志村地域（4 本）、板橋地域と高島平地域は 1 本であった。
- ・ 土地利用別の巨木本数は、公園が最も多く 10 本、次いで寺社墓地が 6 本、個人住宅が 4 本であった。
- ・ 巨木の樹種では、サクラが最も多く 7 本、次いでケヤキが 6 本、イチョウ 5 本であった。

表 5-12 地域別の幹周ランク別本数（幹周 400cm 以上）

単位:本

地域名	450cm未満	450～500cm	500～550cm	550～600cm	600cm以上	合計
板橋	1	0	0	0	0	1
常盤台	6	3	0	0	1	10
志村	3	1	0	0	0	4
赤塚	4	3	1	1	0	9
高島平	1	0	0	0	0	1
区全域	15	7	1	1	1	25

表 5-13 土地利用別の幹周ランク別本数（幹周 400cm 以上）

単位:本

土地利用	450cm未満	450～500cm	500～550cm	550～600cm	600cm以上	合計
公園	6	4	0	0	0	10
公共公益施設	2	0	0	0	1	3
学校	2	0	0	0	0	2
寺社墓地	3	2	0	1	0	6
個人住宅	2	1	1	0	0	4
区全域	15	7	1	1	1	25

表 5-14 樹種別の幹周ランク別本数（幹周 400cm 以上）

単位:本

樹種	450cm未満	450～500cm	500～550cm	550～600cm	600cm以上	合計
サクラ	3	4	0	0	0	7
ケヤキ	2	2	1	0	1	6
イチョウ	4	0	0	1	0	5
ムクノキ	0	1	0	0	0	1
クスノキ	1	0	0	0	0	1
スタジイ	1	0	0	0	0	1
エノキ	1	0	0	0	0	1
その他	3	0	0	0	0	3
区全域	15	7	1	1	1	25

## 7) - 2 巨木の活力度評価

- ・活力度評価は樹勢、樹形、梢端枯損失、枝葉の密度について「良好」、「普通」、「不良」の3段階で評価を行った。その結果を表5-15に示す。
- ・「不良」評価の樹木は少なかった。

表 5-15 大径木の活力度評価

評価	単位:本			
	樹勢	樹形	梢端枯損失	枝葉の密度
良好	3	12	2	4
普通	22	13	20	20
不良	0	0	3	1
合計	25	25	25	25

## 7) - 3 区内の巨木ベスト10

- ・巨木の上位10本を表5-16に示す。
- ・本調査で最も大きい樹木は、日本大学医学部附属板橋病院のケヤキで幹周613cm(株立)、次いで諏訪神社のイチョウ555cmであった。
- ・第1位の日本大学医学部附属板橋病院のケヤキは株立ちで樹形が美しい。第2位の諏訪神社のイチョウは区の天然記念物である。第3位の成増五丁目のケヤキは周囲からよく目立っている。

表 5-16 巨木(上位10位)一覧

順位	樹種	幹周(cm)	町丁目	所在地
1	ケヤキ	613	大谷口上町	日本大学医学部附属板橋病院
2	イチョウ	555	大門	諏訪神社
3	ケヤキ	549	成増五丁目	個人住宅
4	サクラ	494	桜川一丁目	城北中央公園
5	ムクノキ	491	若木一丁目	稲荷神社
6	サクラ	476	徳丸八丁目	紅梅公園
7	ケヤキ	475	向原二丁目	個人住宅
8	サクラ	475	徳丸六丁目	徳丸高山公園
9	ケヤキ	461	赤塚四丁目	氷川神社
10	サクラ	451	常盤台四丁目	板橋区平和公園



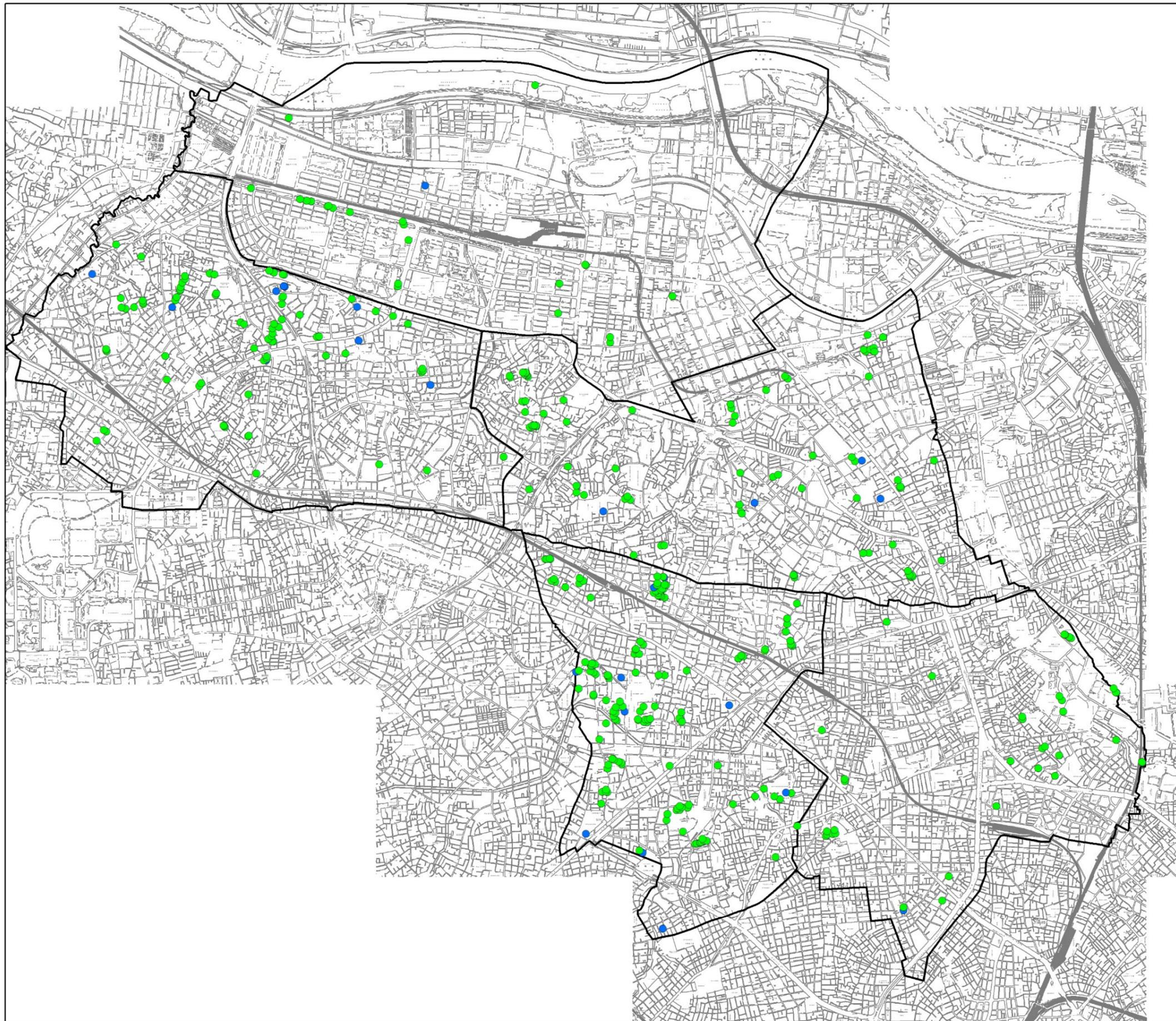
写真 5-1 日本大学医学部附属  
板橋病院のケヤキ  
(順位: 1位)



写真 5-2 諏訪神社のイチョウ  
(順位: 2位)



写真 5-3 成増五丁目個人宅のケヤキ  
(順位: 3位)



凡例

- 幹周 400cm未満
- 幹周 400cm以上



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)31都市基交著第5号

図 5-8 大径木分布図

## 5-2 過去の調査結果との比較

### 1) 大径木本数の推移

- ・ 直径 90 cm 以上の大径木本数の推移を図 5-9 に示す。
- ・ 直径 90 cm 以上の大径木本数は、平成 26 年 (402 本) から令和元年 (377 本) で 25 本の減少であった。
- ・ 本調査で、新たに確認された直径 90 cm 以上の大径木は 25 本であった。
- ・ 平成 26 年度調査で直径 80 cm 以上の大径木の有無を確認したところ、111 本が滅失した。

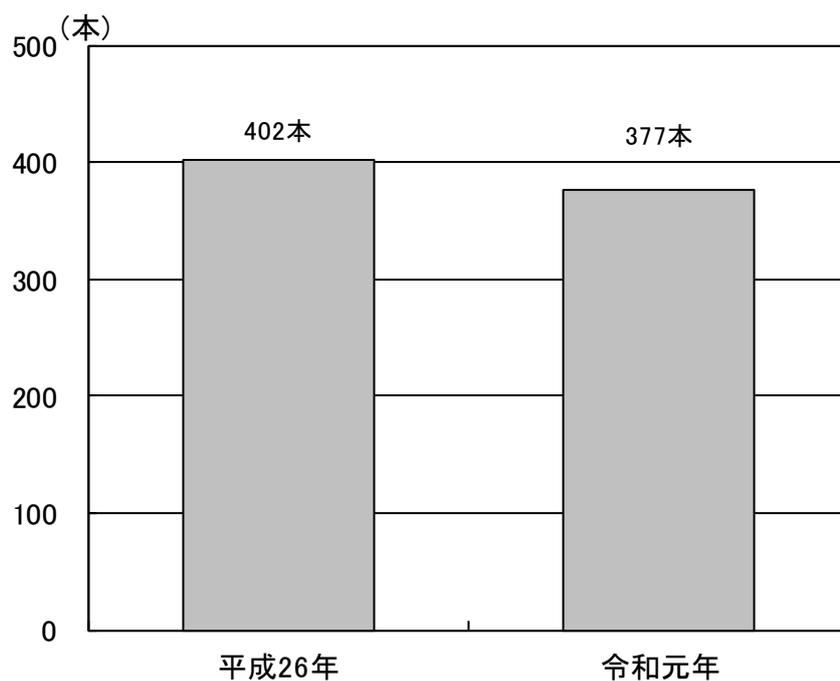


図 5-9 直径 90 cm 以上の大径木本数の推移

## 2) 地区別の推移

- ・ 直径 90 cm 以上の大径木の地区別変化状況を表 5-17 に示す。
- ・ 大径木本数が最も増加したのは赤塚地区の 13 本、次いで西台地区の 12 本、徳丸地区の 8 本であった。
- ・ 大径木本数が最も減少したのは上板橋地区の 37 本、次いで小茂根地区の 15 本、成増地区の 13 本であった。

表 5-17 直径 90 cm 以上の大径木の地区別変化状況

単位: 本

地区名	平成26年	令和元年	増減
板橋	5	11	6
加賀	5	11	6
仲宿	2	0	▲ 2
幸町	4	4	0
大山	3	9	6
中板橋	1	1	0
富士見町	4	2	▲ 2
常盤台	46	34	▲ 12
向原	19	10	▲ 9
大谷口	17	9	▲ 8
小茂根	43	28	▲ 15
東新町	24	20	▲ 4
上板橋	83	46	▲ 37
蓮沼町	20	17	▲ 3
小豆沢	5	9	4
志村	8	10	2
前野町	8	12	4
中台	5	8	3
若木	4	6	2
東坂下	0	0	0
西台	10	22	12
徳丸	5	13	8
四葉	10	16	6
赤塚	27	40	13
赤塚新町	0	0	0
成増	29	16	▲ 13
三園	0	0	0
坂下	2	1	▲ 1
蓮根	2	4	2
舟渡	1	0	▲ 1
高島平	9	16	7
新河岸	1	2	1
区全域	402	377	▲ 25

### 3) 樹種別の推移

- ・ 直径 90 cm以上の大径木の樹種別変化状況を表 5-18 に示す。
- ・ 大径木本数が減少した主な樹種は、サクラ 47 本、イチョウ 9 本であった。
- ・ 大径木本数が増加した主な樹種は、クスノキの 11 本であった。

表 5-18 直径 90 cm以上の大径木の樹種別変化状況

樹種	平成26年	令和元年	増減
サクラ	158	111	▲ 47
ケヤキ	95	97	2
クスノキ	30	41	11
イチョウ	44	35	▲ 9
ムクキ	17	22	5
スダジイ	11	15	4
ヒマラヤスギ	14	13	▲ 1
ホヅラ	8	6	▲ 2
エキ	4	3	▲ 1
その他	21	34	13
合計	402	377	▲ 25

### 4) 土地利用別の推移

- ・ 直径 90 cm以上の大径木の土地利用別変化状況を表 5-19 に示す。
- ・ 大径木本数が増加した主な土地利用は社寺境内地 15 本であった。
- ・ 大径木本数が減少した主な土地利用は公園が 25 本、公営住宅が 10 本であった。

表5-19 直径90cm以上の樹木の土地利用別変化状況

土地利用		平成26年	令和元年	増減	
公有地	主な区有施設	1	5	4	
	その他公共施設	23	23	0	
	教育施設	区立学校	39	35	▲ 4
		都立学校	1	0	▲ 1
		その他	7	1	▲ 6
	公園	165	140	▲ 25	
	公営住宅	22	12	▲ 10	
	道路	10	10	0	
	計	268	226	▲ 42	
民有地	社寺境内地	63	78	15	
	私立学校	6	9	3	
	商業用地	4	4	0	
	独立住宅	41	41	0	
	集合住宅	10	9	▲ 1	
	工業用地	2	1	▲ 1	
	空地	6	6	0	
	農用地	2	2	0	
	林野	0	1	1	
	計	134	151	17	
	合計	402	377	▲ 25	